授業科目	子どものためのピアノⅠ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	山路　麻佳、飯田　知津子、井原　千璃、井原　花綸、加藤　愛子（保育）、本多　一江、吉冨　淳子						
授業概要	保育現場において、子どもの表現を支えるための楽器としてピアノが用いられる場面が多い。本科目では保育者として必要とされるピアノ演奏の基礎的技術を学ぶ。 授業はグループに分かれて個別レッスンの形態で行い、演奏に適した身体の使い方や手の構え、運指法、読譜力、練習方法を身に付けていく。また、主要三和音による伴奏形を習得することにより、簡易伴奏による弾き歌いの基礎的な力を身につけて実践する。 個別レッスンに加え、少人数による中間発表の場を経験することで実践力の向上を目指す。						
授業形態	演習				授業方法	個別レッスンを行う	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	１．身体の使い方や手の構え、運指法などピアノ演奏技能の基本を習得することができる。 ２．バイエル 100 番程度の演奏技能の習得に向けて、『大学ピアノ教本』No.65 程度の曲やマーチ曲、コード伴奏による簡単な弾き歌いなど演奏技能の基礎を習得することができる。 ３．ピアノ演奏や弾き歌いを通して、読譜力、演奏力を身につけるとともに、音楽に親しみをもてるようになる。 演奏技能の基本を習得した上で、『大学ピアノ教本』No.65 程度の曲やコード伴奏による簡単な弾き歌い、マーチ曲を楽譜通りに適切なテンポで演奏することができる。
理想的レベル	演奏技能の基本を習得し、『大学ピアノ教本』No.65 以上の曲やコード伴奏による簡単な弾き歌い、マーチ曲を適切なテンポや正しいリズムで演奏することができる。また、楽譜に記載されている強弱記号や発想記号をもとに、保育現場で活用することを前提とした表現力豊かな演奏をすることができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート		
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物		
その他	50%	課題に対する練習、授業への積極的な参加姿勢

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH21329J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
提示される課題曲の練習に毎日取り組む	1

授業計画

第１回	テーマ：オリエンテーション(全教員) 授業概要について説明し、履修形態や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。

第 2 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 1(全教員) 教本　No.1、No.2、No.3
第 3 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 2(全教員) 教本　No.4、No.5、No.9
第 4 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 3(全教員) 教本　No.13、No.18、No.21
第 5 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 4(全教員) 教本　No.25 コード伴奏による弾き歌い「ちょうちょう」(ハ長調)
第 6 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 5(全教員) 教本　No.27、No.30
第 7 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 6(全教員) 教本 No.32、No.33、 コード伴奏による弾き歌い「ちょうちょう」(ト長調)
第 8 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 7(全教員) 教本　No.38、No.40、No.43
第 9 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 8(全教員) 教本　No.48 コード伴奏による弾き歌い「手をたたきましょう」(ハ長調)
第 10 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 9(全教員) 教本 、No.49、No.51、ハ長調の音階
第 11 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 10(全教員) 教本 No.56 コード伴奏による弾き歌い「おおきなくりの木の下で」(ハ長調)
第 12 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 11(全教員) 教本 ヘ長調の音階、No.60、No.61
第 13 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 12(全教員) 教本 ト長調の音階、No.63
第 14 回	テーマ：各自の進度に合わせた個別レッスン 13(全教員) 教本　No.65、No.98(小犬のマーチ)
第 15 回	テーマ：課題曲の演奏発表と授業のまとめ(全教員)
テキスト	『大学ピアノ教本』教育芸術社 小林美実『こどものうた 100』チャイルド本社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その他、各自の進度に合わせて適宜配布する。

課題に対するフィードバックの方法	演奏課題については、その都度授業内でコメントを返します。
学生へのメッセージ・コメント	ピアノを演奏するためには毎日の練習が基本となります。毎日 30 分以上の練習が望ましいですが、少なくとも 1 週間で合計 90 分以上の練習に取り組むよう心がけましょう。初めてで不安な人や苦手意識がある人もいるかもしれませんが、まずは毎日ピアノを弾くことを意識してください。授業は、個人レッスン形式で一人ひとりに合わせて進めていきます。各レッスン時間は限られているので、担当教員から指定された課題曲を練習した上で毎回の授業に臨んでください。なるべく欠席することがないようにしましょう。